

ハチクサンME 2

版番号 : 1.1

改定日 : 2024/07/12

発行日 : 2024/07/26

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ハチクサンME 2/Hachikusan ME 2

製品コード : Article/SKU: 87290514 UVP: 87290492 Specification: 102000057036

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : Environmental Science Japan K.K.
エンバイロサイエンスジャパン株式会社
1-6-1 Otemachi, Chiyoda

住所 : 東京都千代田区大手町一丁目 6 番 1 号
Tokyo, Japan

電話番号 : 03-4570-8758

電子メールアドレス : johji.ohdake@envu.com

緊急連絡電話番号 : +65 3163 8374
Toll Free: 0800-300-5842

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺虫剤

使用上の制限 : 非該当

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

急性毒性	吸入 (蒸気)	区分4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分2
皮膚感作性		区分1B
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		区分1 (中枢神経系、腎臓)
		区分3 (麻酔作用)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		区分1 (中枢神経系)
		区分2 (咽頭)
水生環境有害性 短期(急性)		区分2
水生環境有害性 長期(慢性)		区分1

記載のないものは区分に該当しない、あるいは分類できない。

ハチクサンME 2

版番号：1.1

改定日：2024/07/12

発行日：2024/07/26

【GHSラベル要素】

「絵表示」



「注意喚起語」

危険

「危険有害性情報」

- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H319 強い眼刺激
- H332 吸入すると有害
- H336 眠気又はめまいのおそれ（麻酔作用）
- H370 臓器（中枢神経系、腎臓）の障害
- H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（中枢神経系）の障害
- H373 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（咽頭）の障害のおそれ
- H401 水生生物に毒性
- H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

「注意書き」

<<安全対策>>

- P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- P264 取扱後は手及び顔をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

<<応急措置>>

- P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
- P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P305+P351 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- +P338 その後も洗浄を続けること。
- P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診断／手当を受けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当を受けること。
- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- P391 漏出物を回収すること。

<<保管>>

- P405 施錠して保管すること。

<<廃棄>>

- P501 内容物／容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従い廃棄すること。

ハチクサンME 2

版番号：1.1

改定日：2024/07/12

発行日：2024/07/26

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分、含有量 及びCAS番号

成分名	重量%	CAS番号	備考
イミダクロプリド	2.0	105827-78-9	化審法 5-6226
		138261-41-3	安衛法 8-(1)-2210
			毒劇法 劇物
			化管法 第一種指定化学物質（管理番号：618）
ペンフルフェン	2.0	494793-67-8	安衛法 8-(2)-2502
			化管法 第一種指定化学物質（管理番号：656）
IPBC	2.0	55406-53-6	化審法 2-3456
			安衛法 2-(5)-170
			化管法 第二種指定化学物質（管理番号：803）
ベンジルアルコール	20.0-30.0	100-51-6	化審法 3-1011
水、溶剤、界面活性剤等	残		

4. 応急処置

吸入した場合

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取ること。
- ・ 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。
- ・ 溶剤・シンナーは使用しないこと。
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合、医師の診察／手当てを受けること。
- ・ 特別な処置が必要である。

眼に入った場合

- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ 目の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・ 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

- ・ 適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用すること。
- ・ 換気を行うこと。

ハチクサンME 2

版番号：1.1

改定日：2024/07/12

発行日：2024/07/26

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、砂など

使ってはならない消火剤

大型棒状の水

特有の消火方法

- ・ 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用すること。
- ・ 安全に対処できるのであれば可燃性のものを周囲から素早く取り除くこと。
- ・ 指定の消火剤を使用すること。
- ・ 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却すること。
- ・ 消火活動は風上より行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用すること。
- ・ 屋内では換気をしっかり行うこと。
- ・ 屋外の場合は、できるだけ風上から作業を行うこと。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止すること。

環境に対する注意事項

- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意すること。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・ 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。
- ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
- ・ スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐこと。
- ・ 水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

- ・ 換気の良い場所で取り扱うこと。容器はその都度密栓すること。
- ・ 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用すること。
- ・ 取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。
- ・ 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業すること。
- ・ 過去に、アレルギー症状を発症している人は取り扱わないこと。

保管

- ・ 日光の直射を避ける。通風のよいところに保管すること。
- ・ 漏れ、あふれ、飛散しないよう必要な措置を講ずること。
- ・ 盗難防止のために施錠保管する。子供の手の届かないところに保管すること。

ハチクサンME 2

版番号：1.1

改定日：2024/07/12

発行日：2024/07/26

8. ばく露防止及び保護措置

管理・許容濃度

許容濃度（ACGIH（TLV））、管理濃度（安衛法による作業環境評価基準）

成分名	許容濃度（ACGIH（TLV））	管理濃度
イミダクロプリド	未設定	0.7 mg/m ³ （原体メーカー・TWA）
ペンフルフェン	未設定	1.1 mg/m ³ （原体メーカー・TWA）
ベンジルアルコール	25 mg/m ³ （日本産業衛生学会）	未設定

設備対策

- ・ 屋内作業の場合は、作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。
- ・ タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

保護具

- ・ 有機ガス用防毒マスクを着用すること。
- ・ 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。
- ・ 取扱いには保護メガネを着用すること。
- ・ 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

・ 物理状態	液体
・ 色	淡褐色
・ 臭い	溶剤臭
・ 沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
・ 可燃性	なし
・ 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
・ 引火点	なし
・ 自然発火点	情報なし
・ pH	約6.0
・ 動粘性率	情報なし
・ オクタノール / 水分係数	イミダクロプリド : log Pow: 0.57 ペンフルフェン : log Pow: 3.3 (25 °C)
・ 蒸気圧	情報なし
・ 密度及び又は相対密度	約1.07 g/cm ³ (20 °C)
・ 相対ガス密度	情報なし

10. 安定性及び反応性

・ 反応性	情報なし
・ 化学的安定性	通常の取扱い条件下では安定
・ 危険有害反応可能性	情報なし
・ 避けるべき条件	情報なし
・ 混触危険物質	情報なし
・ 危険有害な分解生成物	情報なし

ハチクサンME 2

版番号 : 1.1

改定日 : 2024/07/12

発行日 : 2024/07/26

11. 有害性情報

急性毒性	経口	製剤	区分に該当しない	LD50 >2000 mg/kg (ラット)
	経皮	製剤	区分に該当しない	LD50 >2000 mg/kg (ラット)
	吸入 (蒸気)	製剤	区分4	ATE >10 mg/L(4h) (計算による値)
皮膚腐食性・刺激性		製剤	区分に該当しない	わずかな刺激性 (ウサギ)
	眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	製剤	区分2	強度の眼への刺激 (ウサギ)
皮膚感受性		製剤	区分1B	感作性あり (モルモット)
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	ベンジルアルコール	区分1 区分3	(中枢神経系、腎臓) (麻酔作用)
		混合物の分類に基づき危険性の区分を分類した。		
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)		IPBC	区分1	(咽頭)
		ベンジルアルコール	区分1	(中枢神経系)
		混合物の分類に基づき危険性の区分を分類した。		

ハチクサンME 2

版番号 : 1.1

改定日 : 2024/07/12

発行日 : 2024/07/26

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）

製剤	区分2	96時間LC50 7.74 mg/L (コイ) 48時間EC50 24.2 mg/L (オオミジンコ) 72時間ErC50 6.58 mg/L (藻類)
----	-----	--

水生環境有害性 長期（慢性）

イミダクロプリド	区分1	28日EC10 2.09 μ g/L (ユスリカ)
ベンフルフェン	区分1	35日NOEC 0.0234 mg/L (ファットヘッドミノウ) 21日NOEC 1.5 mg/L (オオミジンコ) 7日EC50 >4.7 mg/L (イボウキクサ)
IPBC	区分1	35日NOEC 0.0084 mg/L (ファットヘッドミノウ) 21日NOEC 0.05 mg/L (オオミジンコ)

混合物の分類に基づき危険性の区分を分類した。

残留性・分解性

イミダクロプリド	急速な生分解性は認められない。 Koc : 225
ベンフルフェン	急速な生分解性は認められない。 Koc : 280
IPBC	易分解性

生体蓄積性

イミダクロプリド	生物濃縮なし
ベンフルフェン	生物濃縮係数 (BCF) : 142
IPBC	生物濃縮なし log Pow : 2.8

土壌中への移動性

イミダクロプリド	中程度
ベンフルフェン	中程度

オゾン層への有害性

オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書の付属書に
列記された規制物質を含まない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・ 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- ・ 廃棄剤、容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をすること。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- ・ 空容器は、内容物を完全に除去してから処分すること。

汚染容器及び包装

- ・ 環境に配慮し、空容器は内容物を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
- ・ 環境に配慮し、空容器・包装等はリサイクルを推奨すること。

ハチクサンME 2

版番号：1.1

改定日：2024/07/12

発行日：2024/07/26

14. 輸送上の注意

- ・ 国連番号 3082
- ・ 国連輸送名 環境有害物質（液体）
- ・ 国連分類 クラス9（有害性物質）
- ・ 容器等級 容器等級 III
- ・ 海洋汚染物質 該当する
- ・ 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策
取扱い及び保管上の注意の項に記載に従うこと。
容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
- ・ 国内規制がある場合の規制情報
指針番号 171
陸上輸送 消防法、安衛法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる輸送方法に従うこと。
海上輸送 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。
航空輸送 航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法	ベンジルアルコール	名称等を表示すべき危険物及び有害物 名称等を通知すべき危険物及び有害物
	IPBC（ヨウ素化合物）	名称等を表示すべき危険物及び有害物 名称等を通知すべき危険物及び有害物 皮膚刺激性有害物
化学物質排出把握管理促進法 （化管法）	イミダクロプリド ペンフルフェン IPBC	第一種指定化学物質（管理番号：618）2.0%含有 第一種指定化学物質（管理番号：656）2.0%含有 第二種指定化学物質（管理番号：803）2.0%含有
毒物及び劇物取締法	該当しない	
消防法	該当しない	
大気汚染防止法	ベンジルアルコール	（揮発性有機化合物）
海洋汚染防止法	ベンジルアルコール	（有害液体物質Y類）

16. その他の情報

参考文献

NITE 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHIRIP）
環境省 化学物質情報検索支援システム（ケミココ）
日本塗料工業会 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用（塗料用）改訂第4版]
日本塗料工業会 SDS用化学物質データベース
各メーカー原料SDS

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその含有成分等に関する最新の情報（危険物有害性情報・取扱情報等）を集めて作成しておりますが、すべての情報を羅列したものでなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行い改訂致します。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

この安全データシートは以下の製品製造会社の安全データシートに従って作成した。

版番号
安全データシート



ハチクサンME 2

版番号 : 1.1

改定日 : 2024/07/12

発行日 : 2024/07/26

製品製造会社 : ケミプロ化成株式会社